

地域生活交通に係る調査特別委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和6年12月12日(木) 第2委員会室
2. 出 席 委 員 宇江田豊彦委員長 前田智永副委員長 谷口隆明 徳永泰臣 五島誠 國利知史
林高正議長
3. 欠 席 委 員 なし
4. 事務局職員 山根啓荘議会事務局長 横山和昭議会事務局議事調査係長 植木佳那子議会事務局主事
5. 説 明 員 なし
6. 委員外議員 坂本義明副議長
7. 傍 聴 者 なし
8. 会議に付した事件
 - 1 地域生活交通への乗車調査についてのまとめ
 - 2 今後の調査について
 - 3 その他

午後0時59分 開 議

○宇江田豊彦委員長 第6回の地域交通に係る調査特別委員会を開会いたします。ただいまの出席議員全員です。

1 地域生活交通への乗車調査についてのまとめ

○宇江田豊彦委員長 よって早速、議題の案件に入ってまいります。まず、11月6日に実施をした管内視察について、まとめをしていきたいと思いますので、順を追って、交通機関を体験した中で皆さんがお感じになったことを伺います。まず、主には高校生が通学に使用しているJR芸備線、三次駅から備後西城駅に乗って体験されたこと、感じたことについて伺います。五島委員。

○五島誠委員 三次からとなると、結構朝早い時間になるかなと思ったのですが、あれを逃せばもう次がないということもあり、多くの高校生の方が乗っていらしたのを体験することができました。乗ってみての感想としては、初めて乗ったということもあるかもしれませんが、体感時間といいいますか、思ったより早く着いたなという感覚がありました。不便さはそんなに感じなかったというところが、本当にただ感想ですけども。

○宇江田豊彦委員長 他にありませんか。この件については事前に高校へ訪問したりする中で、学校の担当教職員の方から意見を聴取したり、生徒の皆さんとの懇談も実施したりしたところです。その中で課題として挙げられていた点についてはいかがでしたか。副委員長。

○前田智永副委員長 伺っていたにも増して、たくさんの方が利用されていたなと感じました。増便の声なども伺ってきてはいるので、そのあたりも視野に入れながら乗りました。もし、例えばこの便を逃したら学校に間に合わないというところで、もう1便あったとしたらと考えると、もしかしたら本当に利用者が倍増するのではないかなというぐらい、あの路線沿いの4校、どこの学校の生徒も乗ら

れていました。もっと利用したい人がいらっしやるのではないかなと感じました。

○宇江田豊彦委員長 他にありませんか。徳永委員、國利委員、他にありませんか。御二人は聞き取りに参加いただいているので。

○國利知史委員 僕はもう、あのとおりかなと思います。僕は結構乗っていて、いつも体験していることなので、新しいことというのはなかなか発見できませんでした。ただ、報告書に感じたことは載せていますし、生徒、先生の意見も報告書で挙げたとおりかなと思います。視察に行ったときに山内から結構な人が乗られたので、余計きつきつになったというのもあると思うのですけれども、そういう突発的なことも考えると、やはり2便目の時間とかの調整ができていれば、さらにいいのかなと当日感じました。

○宇江田豊彦委員長 他にありませんか。

○徳永泰臣委員 同じような考えです。1便は1便としていいと思うのですけれども、2便の時間設定がどうしてそういう時間になっているのか。もう少し早めてもいいのではないかなということと、できたら西城駅まで2便が行ける状態になったらいいのではないかなという感想を持ちました。

○宇江田豊彦委員長 他にありませんか。五島委員。

○五島誠委員 気持ちとしては、言われるように2便目があってもいいなと思うし、一つ逃したらもう次がないのはどう考えてもしんどいだろうなと思う反面、この間が多分マックスぐらいだと思うのです。高校生以外の方も乗っておられてあの感じなので、現実問題として、これだけ人が乗っているからふえるというレベルまでには、正直いっていないのではないかなと、個人的には。

○宇江田豊彦委員長 私自身も五島委員の意見に賛同するところがあるのです。あの日はちょうど山内から亀嵩温泉に行くグループが、10何人だったと思うのですが乗車されました。様子を見ると、それでも結構座れていました。高校生は立っておられる方もかなりおられましたけれども、それでもまだ多少のゆとりはあるなという感じでしたから、生徒の皆さんがおっしゃるほど混み合っているという感覚は、日常的にはないのかなということも伺えました。それからもう一つは、2便利用ができれば、もっと利用促進が図れるのかなということも同時に感じたところです。多くの生徒の皆さんが2便利用で、例えば格致高校なら格致高校へ通える時間帯になれば、もっと活用者がふえる。バスとJRを比べたときに、JRのほうが運賃が安いから負担が少なくて済むということから、利用者がふえるということも想像できるということだと思います。國利委員。

○國利知史委員 2便の時間が少し早ければ多分いいとは思っているのですけれども、それだけではなくて西城まで行かないと、どっちみち紫水の子は1便目におくると昼になる。だから、2便も西城まで行けるようにしておかないと、紫水の生徒たちにとっては余り関係がないのかなと思いました。

○宇江田豊彦委員長 徳永委員。

○徳永泰臣委員 なぜあの便が庄原止まりなのか、なぜそういう時間設定がされているのか、事情が知りたかったです。全然わからない。

○宇江田豊彦委員長 JR西日本へ行って問いただしたこともありませんし、それは我々が知るところでは今のところないということです。

○徳永泰臣委員 昼間の便にしても、なぜこの便があるのか、なぜこの時間設定で走っているのか。JRの言い分もあるのでしょうけれども、その辺が全然わからないから不満な点が多々あるのです。

○宇江田豊彦委員長 時間設定の問題ですね。坂本副議長。

○坂本義明副議長　　今の時間を遅らせて、例えば三次から車で送っている人がＪＲに乘らせようという話になればいいけれども、そうなるか、ならないかもまた一つの議論のもとになるのではないかと。格致などは、バスがあそこへ行っている。結構あそこでバスに乗り降りしている。それか、ＪＲに乘るか乗らないかをアンケートで聞いてみるか。ふやせばいいというものでもない。

○宇江田豊彦委員長　　他にありませんか。國利委員。

○國利知史委員　　今の関連でいうと、僕は線路沿いの家なので毎日見るのですけれども、最近、少し減ってきたのかなというところは、肌感覚的にあったのですよ。バスが格致高校のすぐ前に停まりますから、そちらに変わっている可能性はあると思います。肌感覚ですけれども、今までは本当に満員電車ぐらい乗っていた気がするのです。バスは結構乗っていますから、その可能性はあると思います。

○宇江田豊彦委員長　　他にありますか。よろしいですか。ＪＲの通学に係る調査の部分についてはこの程度にしたいと思います。次に乗ったひまわりバスについて、皆さんから感想なり、あれば出していただければと思います。國利委員。

○國利知史委員　　ひまわりバス、すごくいいなと思います。バス停も多いし、庄原市内だけにはなるのですけれども、すごく便利だと思います。ただ、西回り・東回りがあるので、少しわかりにくい。なれている人はいいですけれども、観光で来た人が乗り換えてどこかへ行きたいというときに、少しわかりにくいかなという印象は持ちました。

○宇江田豊彦委員長　　他にありませんか。五島委員。

○五島誠委員　　國利委員と似ているのですけれども、西回り・東回りがあって、しかもそのバス停が近いところもあるのです。よく乗られている人なら、今この時間帯だからこちらに乗って、こちらで降りたらいいとできるのですけれども、そのあたりのわかりにくさというか、効率的なようで非効率的な部分も少し見えました。ひまわりバスは本当にいいと思っています。安いし、ちょっと行くのに便利だし、実際にそれで昼に職場に通うという方もいらっしゃるだったので、そういう使い方もできるのいいなと。しかし先ほどおっしゃったように、よく見るとこっちで降りたほうが便利だなというのは若干あるので、わかりやすくすればもっと利用しやすくなるのかなと。市民の方だけではなくて、例えば観光とかで来られた方とかにも、２次交通の一つのツールとしてはいいのかなと思います。

○宇江田豊彦委員長　　他にありませんか。先ほど出ていましたけれども、利便性はいいと思います。それから価格が安価であるということで使い勝手は非常にいいのではないかと思います。利便性を向上させるために、バス停を西回りも東回りも統一したらどうかと思うのです。東京の山手線のような感じで、外回りも内回りも同じ駅に停まる。回り方が違うという感覚のほうがわかりやすいのかな。それか同じルートでぐるぐる回るのもいいのではないかと思います。我々が乗ったのは東回りだったのですよ。東回りでジョイフルを目的地にして、田園文化センターのところで降りたのです。時間的なゆとりを考えて、早めて降りました。バス停を東・西共通にして回るのがいいのではないかと思いますし、一方回りで同じところに停まる工夫があるともっと使いやすいのではないかと。どちらへ乗っても同じところへ着ければ、利便性ももっと向上するのではないかという気がしました。他にありませんか。副委員長。

○前田智永副委員長　　これは市民の方からの御意見で幾つかいただいたことなのですけれども、西回り・東回りがすごくいいという声が実際ありました。自分が乗るところから、行き先はすぐそこなのにくるっと回って行かれると時間がとてももったいないと。だから、あえて反対のルートに乗ると、すご

く早くて便利だという声も実際に幾つかいただいているので、これは一定の効果というか、狙ったところできちんと利便性が求められているのかなと私は思っています。

○宇江田豊彦委員長 他にありませんか。よろしいですか。次に高速バスで東城へ行きました。高速バス東城線に乗った感想をお伺いしたいと思います。何か皆さんからありませんか。副委員長。

○前田智永副委員長 アプリが使えたのはすごく便利でした。やはり今のニーズは、アプリが使えて、そこに現金を落とさなくてもいいというところだと思うので、それが市内の高速バスで使えるのだということに感動しました。そこは市民の方でも知らない人が結構いらっちゃって、庄原市の中では使えないだろうという方もいらっしゃるので、広報したいなと個人的に思いました。

○宇江田豊彦委員長 他にありませんか。谷口委員。

○谷口隆明委員 何回か朝の便で来るのですけれども、高校生や市の職員、結構朝の便で来ておられます。多いときはもういっぱい座れないぐらいの方が乗ることもあったので、便利な便だとは思いますが。もともとは大型だったのですけれども、今は状況を考えて小さいバスになっています。

○宇江田豊彦委員長 通勤、通学の活用もされているということですね。

○谷口隆明委員 市の職員もバスで来て、バスで帰っているから。

○宇江田豊彦委員長 副委員長。

○前田智永副委員長 今回、皆さんに乗っていただいたのがジョイフルから乗れる便だったのです。全便がそうではなくて、1日2便ぐらいが乗れる便なのです。あれはすごくいいなと思いました。実際に買い物で来て帰っていらっしゃる方も同乗されていましたが、私乗るのよと言われていたもので、すごく便利に買い物で使われているのだなと思いました。

○宇江田豊彦委員長 國利委員。

○國利知史委員 僕もそれをすごく感じて、買い物もですけれども病院も近いので、東城から日赤に行かれる方も多分いらっしゃると思うのです。ジョイフルから東城行きが出ていることを僕も知らなかったのですが、初めて乗って、これいいなと思いました。

○宇江田豊彦委員長 他にありませんか。よろしいですか。実際はもう一つ、二つ試乗する予定だったのですが、調査不足で御迷惑をおかけいたしました。その後、東城支所の会議室をお借りして少し懇談をしたのですが、きちんとしたまとめをしておかないと、議事録の関係もありますので、あえてきょうこの管内視察についてのまとめをさせていただきました。状況とすれば、JRは子供たちの通学に大きなツールとして使われているということを確認いただけたと思います。これがなくては、子供たちが本当に困る状況が生まれるのではないかということをお互いに確認しました。また、ひまわりバスの利便性についても、非常に使いやすい、市内一円回るバスだということを確認いただいたものと思います。高速バスについては、東城へ高速バスで移動することが私自身は初めてだったのですが、非常に快適な形で移動ができますし、それからジョイフルから乗れる、下車できるということで、病院や買い物の利便性を高めているということが実証されたのではないかと考えております。

2 今後の調査について

○宇江田豊彦委員長 もっと調査が必要なのではないかとということで、今後の調査について、2点目に挙げております。懸案である、よるくるです。よるくるの期間は、あしたまでなのです。一度試乗し

てみればどうかということですが、期間があしたの夜までしかないの、実質的には難しいのかなと思います。皆さんどうですか。よるくる、いろんな方面があり、毎日運行になりました。毎日運行で12月13日までとなっておりますが、どちらにしてもあしたまでしかない。今後はどうされるのかもまだわかりませんし、よるくるの実証体験をどうするか。無理やりでも、あした予約をして乗ってみるということがあるのですが、何にもないのに乗るというのも変ですし、よるくるですから、夜8時以降でないと乗ることができません。どうしますか。実質的には難しいかなと思うので、よるくるについての調査は、プロジェクトの方をいつか招聘して、お話を聞く機会をつくったらどうかと思うのです。個人的には、もう既に使われている委員の方もおられますし、またあしたも利用するとおっしゃっている委員の方もおられます。ですから、その辺も踏まえて、プロジェクトの方が許せば来ていただいて、お話を聞く機会をつくったらどうかと思うのですが、いかがですか。年内にできれば1番いいのですけれども、難しいかもしれませんので、年明け早々に日程を調整して、お話を伺う機会をつくってみたいと思います。いいですか。調整をしてみたいと思います。それから、もう一つ委員長から提案があるのですが、今後の調査について地域交通課を1回招聘して、全体的なことも含め、これに係る財源についても調査をして、今後の方向性も考えていかなければならないと思います。目標は2億4,700万になっていますけれども、実際にはもっとかかっているの、それをどのように我々は捉えていくのかということを検討していかなければならないと思います。それから計画が立てられて、今、実際に市内交通の確保のために運行もされている。その全体的な状況等々もお伺いすべきではないかと思いますので、地域交通課の招聘もして、お話を聞く機会をつくりたいと思います。これもできるだけ早い時期に決定させていただければと思いますが、どうでしょう。今後の調査については、まずプロジェクトのメンバーからお話をきく機会を持つ、それから担当課から話を聞く機会を持つ。この2本立てです。それから、今後の調査について皆さんから御意見があったらお聞かせ願いたいと思います。よろしいですか。この二つを聞かせていただく中で、最終的な一定のまとめをして、3月定例への報告という運びにしていこうと思います。その方向性でよろしいですか。最初、特別委員会を設置したときは、12月定例で報告をするということで全体のスケジュールを考えておりました。しかし、今の段階でするのは少し乱暴だと思いますので、その二つをして、最終的にまとめをしていきたい。それでも十分なまとめにはならないと思いますが、今日の状況についてまとめをしていきたいと思います。それでよろしいですね。そういうことにしたいと思います。

3 その他

○宇江田豊彦委員長 そのほかで皆さんから何かありますか。よろしいですか。次回の委員会ですが、先方の都合がありますので、先方の都合に合わせて調整をさせてください。恐らく年内開催は難しいと思います。年明け早い時期に二つの会議を持って、その次は一定のまとめという形の委員会開催にさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

午後1時29分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

地域生活交通に係る調査特別委員会

委 員 長